

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日:平成28年10月28日

作成者:足立

会議名: 守山まるごと活性化まつりプロジェクト第13回 会議

日時:平成28年10月19日(水)

場所:吉身会館 小会議室

出席者:まつりプロジェクト推進員

出席者(行政):吉身会館 足立

議題

- ・28年度学区民のつどいでの取り組み結果について
- ・吉身まるごとお宝マップ(仮称)小冊子の内容検討

会議要旨

内容

【28年度学区民のつどいでの取り組み結果について】

事務局:今回の会議では、まずはじめに先日行われた学区民のつどいで、プロジェクトが提案した「豊年踊り」が無事に行われ、見学された方々にも好評だったことを報告します。改めて、ご協力いただきありがとうございました。今日の会議では、前回会議から検討している「吉身まるごとお宝マップ(仮称)」のタイトルの決定と、内容検討をしていきたいと思っていますのでお願いします。

【29年度作成予定 マップのタイトルの検討】

委員:若者向けのタイトルはどうか。

委員:27年度に作成したマップのタイトルは何だったか。

事務局:「吉身学区で遊ぼう! イベント・たからものマップ」です。この冊子を使って吉身学区を歩き回ってもらう、という意図が伝えられるようなタイトルになるのではないかと。「遊ぼう」や「出かけよう」といったイメージが伝わるような。

委員:「吉身学区で遊ぼう! イベント・たからものマップ」を軸にして、より人を惹きつけられるようなタイトルにしたい。若者だけでなく、全ての世代に受け入れられるようなタイトル。

委員:参考として、私の自治会で10月に歩きましょう大会を行う。立入地区の住吉神社や西隆寺を回って、東福寺で昼食をとる。そういった時、冊子があれば寺社仏閣の場所や情報が分かるので便利だと思う。

委員:テレビ番組のタイトルを参考にするのも一つだと思う。

委員:吉身学区がどこからどこまでか知らない人も多くいるので、今回の冊子を通じて、そういった人たちに吉身学区の範囲(立入ヶ丘小学校区も吉身学区であること)を知ってもらえるようなものに出来れば。立入学区を含めて吉身学区という。

委員:立入ヶ丘小学校区に新しく住まわれた方は特にそう。自分の自治会を知らない人もいる。自治会名は入れるべきだろう。吉身学区は吉身小学校、立入ヶ丘小学校区で、自治会は10自治会がありますよ、という事が分かるような。

委員:校区をタイトルにいれて、その中に自治会名を入れるようにすれば分かりやすいのではないかと。

(裏面に続く)

会議要旨

内容

委員:これまでの意見をまとめると「吉身学区 イベント・たからものマップー遊ぼう!出かけよう!ー」というタイトルにして、その下に「吉身小学校区 ○○(自治会名)…」 「立入ヶ丘小学校区 ○○(自治会名)…」となるのでは。

事務局:タイトルについては上記のとおりでよろしいか。また、表紙のデザインについては、事務局のほうでいくつか案を作成し、次回会議で確認いただいてもよろしいか。

委員:表紙には吉身、立入が丘小学校区のイベント、行事、地域資源の写真を使ってはどうか。また、2小学校区が吉身学区であることをはっきり示すために2小学校の写真を表紙に載せたら良いのではないか。

事務局:参考にさせていただきます。

【冊子の内容検討】

委員:内容についてだが、記載された寺社等に行った時に案内してくれるような人や案内版の有無を記載してはどうか。せっかく行ったのに案内が無い、というのはいけないと思うので。今は何も無いところが多い。行ったはいいものの案内が無いのではちょっと。

委員:例えば、音声付き案内板を学区内の寺社に設置するのは可能か。

委員:そうなれば、学区内の寺社等を回って、案内板や案内人の有無を確認する必要がある。

委員:守山駅や2小学校の位置はもっと分かりやすく示したほうが(大きく表記したほうが)良い。多くの人が知っている分かりやすい目印なので。

委員:記載されている「お宝」はいつ行っても見れるものなのだろうか。見れないものもあるのではないか。というのも、三十六歌仙絵は現在は天満宮ではなく、天満宮の正面にある建物内にある。

委員:ここに挙げられている宝物を一度委員で見に行き、案内板や案内人の有無等を確認しに行っても良いかもしれない。それを踏まえて予算要望していったら良いのではないか。

委員:宝物の説明文のなかに、その宝物が見れる時期や見る方法、連絡先等を記載する必要があると思う。

委員:行事表を一面に持つてくるように配置を移動させたらどうか。タイトルを開いたら一面に行事予定表が出てくるような。また、そのようにするならタイトルを横書きにして、開いた時に同じ方向に行事予定がくるようにしたほうが良いのではないか。

【プロジェクトの今後の方向性について】

委員:今年度の会議で冊子の内容を完成させ、来年度に印刷する。そして、地域資源への看板等の設置は30年度に行うとして、29年度に現地調査を行うのはどうか。

委員:異議なし。